



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 足立 有子 TEL 03-6423-1135
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,835	△20.3	933	△49.0	1,123	△38.7	760	△38.0
2020年3月期第3四半期	7,321	△8.2	1,827	△16.4	1,831	△16.5	1,226	△18.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 753百万円 (△38.1%) 2020年3月期第3四半期 1,218百万円 (△18.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	60.82	60.39
2020年3月期第3四半期	98.12	97.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	15,991	14,877	91.9	1,174.99
2020年3月期	16,017	14,498	89.7	1,149.63

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 14,693百万円 2020年3月期 14,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,930	△16.8	1,460	△34.2	1,650	△26.1	1,150	△25.6	91.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	12,505,627株	2020年3月期	12,504,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	519株	2020年3月期	519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	12,504,611株	2020年3月期3Q	12,503,523株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な落ち込みから、各国の経済活動の再開やペントアップ需要の発生等により回復する動きとなりましたが、新型コロナウイルスの第2波・第3波の発生もあり回復ペースは鈍いものとなりました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連では一時生産台数が前年同月と比べ半減となる等厳しい状況となりましたが、大手メーカーの生産水準維持の姿勢や米中の需要回復等から持ち直す動きとなりました。また電子・デバイス関連においても、リモートワークの拡大によるパソコンや関連機器の伸びに加え、主力スマートフォンの5G対応モデル発売等から回復傾向となりました。このような需要先の回復の動きに伴い、当社製品の流通在庫の調整も徐々に進みました。

このような環境のなか当社グループでは、マスク着用や手洗い・消毒の励行、サーモグラフィカメラやアクリル板の設置、在宅勤務や時差出勤の実施等様々な感染防止策を講じつつ、日々の業務を行ってまいりました。営業活動においては、電話やオンラインによる製品紹介や技術アドバイス、メールによる情報発信等を積極的に活用し、徐々に訪問営業を再開いたしました。また、これまで東京にのみであった在庫センターを、リスク対策の面から仙台工場にも設置いたしました。生産活動においては、売上高の減少に伴い一時帰休の実施も含めて減産を行い、可能な限りのコスト削減を図る一方、生産量を戻す過程においては、削減したコストを増やさずに増産できる体制づくりに取り組みました。製品面では、当社の研削技術により、CBN素材のエンドミルにおいて、世界で初めて刃径0.1mmで4枚刃、更にコーナーにR0.01が付いたCBNスーパーハイプレジジョンラジラスエンドミル「SHPR400」

(ラジラスエンドミル：刃先の角(コーナー)に丸み(R)が付いた形状のエンドミル)を発売し、本製品を含んだ極小径多刃ラジラスエンドミルシリーズが10月に「超モノづくり部品大賞(主催：モノづくり日本会議/日刊工業新聞社)機械・ロボット部品賞」を受賞いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,835百万円(前年同期比20.3%減)、営業利益は933百万円(同49.0%減)、経常利益は1,123百万円(同38.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は760百万円(同38.0%減)となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル(6mm以下)」が4,562百万円(前年同期比18.7%減)、「エンドミル(6mm超)」が531百万円(同26.0%減)、「エンドミル(その他)」が366百万円(同24.3%減)、「その他」が375百万円(同26.0%減)となりました。

(注) 報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は26百万円減少し15,991百万円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少や在庫削減によるたな卸資産の減少等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して405百万円減少し、1,114百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加などにより379百万円増加し14,877百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は91.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2021年1月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,784,360	6,937,750
受取手形及び売掛金	1,366,221	1,263,931
商品及び製品	1,319,932	1,023,640
仕掛品	274,477	288,134
原材料及び貯蔵品	606,684	463,952
その他	203,939	136,101
流動資産合計	9,555,615	10,113,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,861,180	2,752,907
機械装置及び運搬具(純額)	1,896,232	1,599,631
土地	692,528	692,528
建設仮勘定	122,959	135,849
その他(純額)	175,534	168,366
有形固定資産合計	5,748,434	5,349,283
無形固定資産	52,546	34,985
投資その他の資産		
投資有価証券	47,030	49,310
繰延税金資産	324,813	302,074
その他	289,408	142,492
貸倒引当金	△49	-
投資その他の資産合計	661,202	493,876
固定資産合計	6,462,183	5,878,145
資産合計	16,017,798	15,991,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,276	140,277
未払法人税等	256,952	80,464
賞与引当金	216,859	98,703
役員賞与引当金	125,279	50,510
その他	457,694	489,886
流動負債合計	1,265,061	859,841
固定負債		
長期未払金	254,736	254,168
固定負債合計	254,736	254,168
負債合計	1,519,797	1,114,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	444,372
資本剰余金	405,800	407,272
利益剰余金	13,535,643	13,858,492
自己株式	△925	△925
株主資本合計	14,383,417	14,709,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	2,515
為替換算調整勘定	△10,011	△18,339
その他の包括利益累計額合計	△9,091	△15,824
新株予約権	123,675	184,258
純資産合計	14,498,001	14,877,646
負債純資産合計	16,017,798	15,991,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,321,945	5,835,602
売上原価	3,292,925	2,945,985
売上総利益	4,029,019	2,889,617
販売費及び一般管理費	2,201,258	1,956,599
営業利益	1,827,761	933,017
営業外収益		
受取利息	26	36
受取配当金	1,119	480
助成金収入	85	61,215
作業くず売却益	9,612	5,857
保険解約返戻金	-	122,030
その他	2,233	3,925
営業外収益合計	13,077	193,547
営業外費用		
為替差損	9,044	2,970
その他	15	19
営業外費用合計	9,060	2,989
経常利益	1,831,778	1,123,575
特別利益		
固定資産売却益	2,895	-
特別利益合計	2,895	-
特別損失		
固定資産売却損	48	52
固定資産除却損	286	2,334
特別損失合計	334	2,387
税金等調整前四半期純利益	1,834,339	1,121,188
法人税等	607,457	360,701
四半期純利益	1,226,882	760,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,226,882	760,487

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,226,882	760,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,500	1,595
為替換算調整勘定	△7,081	△8,328
その他の包括利益合計	△8,582	△6,732
四半期包括利益	1,218,299	753,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,218,299	753,754
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた2,318千円は、「助成金収入」85千円、「その他」2,233千円として組み替えております。